

2019(平成31)年度事業報告書

自：2019(平成31)年4月1日 至：2020(令和2)年3月31日

(公益事業)

公1事業、写真に関する創作活動の奨励、人材の育成、教育に係わる事業

(1)小学生を対象とした「写真学習プログラム」を全国の小学校20校で指導者11名、参加児童数555名で実施した。このプログラムは、児童たちの興味や関心事に目を向け児童と共に体験を通して学ぶ、「体験、参加型」の学習並びに指導で、写真という優れた記録媒体を使っての「記録・表現することの意味」を理解し、家庭や社会で広く写真を活用してもらおうとの願いがある。(15年間の合計696校24,045名)。富士フィルムイメージングシステムズ(株)の協力で行った。

この児童たちの作品を多くの方々に見ていただこうと、富士フィルム(株)・富士フィルムイメージングシステムズ(株)が主催する「“PHOTO IS” 想いをつなぐ。50,000人の写真展2019」での特別企画「“PHOTO IS” 小学生の眼」へ参加児童の作品を毎年展示している。本年も499点を7月～11月迄東京等14会場に展示した。児童がどのような物に興味をもって撮っているか、子どもたちの多様な感性を鑑賞していただいた。

(2)全国高等学校文化連盟写真部との共催で催している第13回高校写真部顧問を対象とした「デジタル写真講座」を、7月6日岩手、7月13日福岡の2カ所で行った。高校生の大半がデジタルでの写真制作を行っている現在、顧問の先生方もカメラの仕組みや使い方、インクジェットプリントの技術を習得しようと約7時間の講習を熱心に体験された。(株)ニコンイメージングジャパンの協力で行った。

日時	開催地	講師	受講者
7月6日(土)	岩手県・岩手県立盛岡農業高等学校	松本徳彦、小池 聡、前田 徹	教師19名
7月13日(土)	福岡県・福岡大学附属若葉高等学校	山口勝廣、平川幸児、森下東樹	教師11名

(3)技術研究会を行った。

開催名	場所	日時	参加数
第1回「フォトショップ、ライトルーム、ブリッジーAdobe担当者に聞く新機能とQ&A」講師：大倉壽子、田中玲子(アドビシステムズ(株))	JCIIビル 6階会議室	5月14日(火)	60名
第2回「最新ロケーションライティング事情 バッテリータイプストロボの紹介と活用事例」講師：飯田耕治、高村 達(会員)、福島義光(株)ケンコープロフェッショナルイメージング)	JCIIビル 6階会議室	2020年 2月12日(水)	55名

(4)専修大学文学部人文・ジャーナリズム学科での講義「報道写真論」の講師に小松健一、前川貴行両会員を派遣した。この講座は、学生たちの真実を見抜く目を育て、批評力と行動力を養うことを目的とし、メディアの第一線で活躍する写真家や実務者に実作と体験談をもとに、いまメディアの現場で、何が起きているかを理解してもらうことを目的として平成23年度に開設され、当協会は講師派遣を委託されている。

公2事業、写真の表現に関する展示、講演、保存に係わる事業

(1)「第44回2019JPS展」を東京、名古屋、京都で開催した。

公募受付：2018年12月10日(月)～2019年1月15日(火) 作品審査：2月2日(土)

審査員：熊切圭介(審査員長)、榎並悦子、大西みつぐ、清水哲朗、藤森邦晃(『フォトコン』編集長)

共催：東京都写真美術館

後援：文化庁ほか

総展示数：542枚(公募277名475枚、会員作品56名56枚、ヤングアイ11校11枚)

応募総数：1,795名、6,147枚(一般：1,619名、5,794枚 18歳以下：176名、353枚)

入賞・入選者総数：277名、475枚

一般部門：242名、420枚(文部科学大臣賞1名、金賞1名、銀賞2名、銅賞3名、奨励賞5名、優秀賞17名、入選213名)

18歳以下部門：35名、55枚(最優秀賞1名、優秀賞9名、入選25名)

各都道府県応募者数

北海道 33、青森 5、岩手 20、宮城 16、秋田 7、山形 25、福島 16、茨城 38、栃木 26、群馬 11、埼玉 143、千葉 103、東京 207、神奈川 176、山梨 3、長野 51、新潟 48、富山 7、石川 9、福井 3、岐阜 30、静岡 21、愛知 144、三重 33、滋賀 75、京都 87、大阪 134、兵庫 74、奈良 26、和歌山 16、鳥取 13、島根 8、岡山 41、広島 25、山口 12、徳島 8、香川 16、愛媛 6、高知 4、福岡 25、佐賀 8、長崎 9、熊本 9、大分 2、宮崎 2、鹿児島 6、沖縄 13、海外 1名

会員作品：56名 56枚

企画展示「ヤングアイ」

公益社団法人日本写真家協会 会長賞：現代写真研究所 写真総合科Ⅱ ヤングアイ奨励賞：大阪芸術大学芸術学部

ヤングアイ参加校：11校

現代写真研究所 写真総合科Ⅱ、東京工芸大学 芸術学部 写真学科、学校法人呉学園 日本写真芸術専門学校、日本大学芸術学部 写真学科、東京総合写真専門学校、専門学校 名古屋ビジュアルアーツ 写真学科、名古屋学芸大学 メディア造形学部 映像メディア学科、学校法人 Adachi学園 ビジュアルアーツ専門学校・大阪、学校法人 日本写真映像専門学校、大阪芸術大学 芸術学部 写真学科、九州産業大学 芸術学部 写真・映像メディア学科

開催名	会場	日時	参加数
◆東京展（共催：東京都写真美術館 後援：文化庁、東京都 協力：会場モニター・パナソニック㈱） 表彰式 講演会：「気鋭の写真家による第44回2019JPS展 入賞作品講評！」 講師：榎並悦子、大西みつぐ、清水哲朗 司会：吉永陽一（JPS会員） 祝賀パーティー イベント：「写真家と一緒にJPS展をみにいこう！」	東京都写真美術館 B1F	5月18日(土)～ 6月2日(日)14日間	3,575名
	東京都写真美術館 1Fホール	5月18日(土) 1時 〃 3時	183名 190名
	ビヤステーション恵比寿 東京都写真美術館 1F7 スタジオ、JPS展会場	5月18日(土) 5時 5月26日(日)	185名 34名
◆名古屋展（後援：文化庁、愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会） 作品講評会 講師：専務理事・山口勝廣 講演会：「アザラシの赤ちゃんからシマエナガちゃん」 講師：小原 玲（JPS会員）	愛知県美術館 ギャラリーE・F室 愛知芸術文化センター 12階	6月19日(水)～ 23日(日) 5日間 6月22日(土) 1時～3時30分	1,022名 約120名
◆関西展（後援：文化庁、京都府、京都府教育委員会、京都市、京都市教育委員会） 作品講評会 講師：会長・野町和嘉 講演会：「入賞作品と審査の現場から見た『写真の力』」 講師：藤森邦晃（『フォトコン』編集長）、四方伸季（JPS会員）	京都市美術館別館 京都市国際交流会館 イベントホール	7月30日(火)～ 8月4日(日) 6日間 8月3日(土) 1時～4時30分	1,338名 約110名

(2) 「2019年新入会員展－私の仕事」を開催した。

会期	場所	入場数	備考
7月11日(木)～17日(水) 11日(木) 18:00～19:30	アイデムフォトギャラリー「シリウス」 〃 オープニングパーティー	638名	展示42名84枚 参加者121名
8月23日(金)～29日(木)	富士フィルムフォトサロン大阪	3,389名	

(3) 第13回JPSフォトフォーラム「撮るべき、時代。」を開催した。

日時：11月17日(日)、会場：有楽町朝日ホール、参加者：429名、共催：朝日新聞出版、後援：文化庁、講演とパネルディスカッション。基調講演：野町和嘉、パネリスト：大西みつぐ、HARUKI、熊切大輔 司会：佐々木広人(『アサヒ巧』前編集長)、協賛(7社)：エプソン販売㈱、オリンパス㈱、キヤノンマーケティングジャパン㈱、シグマ、タムロン、ニコンイメージングジャパン、富士フィルムイメージングシステムズ㈱。

(4) 文化庁委嘱事業「文化関係資料のアーカイブ構築に関する調査研究」

①収集・保存

平成31年度収集・調査を行った写真家と原板資料受け入れ状況は、9名、24,229本となった。

撮影者・団体名	受入日(初回)	受入本数		内容
		初期調査未	初期調査済	
片山撰三	2019年4月15日	—	2,112	昭和の文化人、仏像
ホレス・ブリストル	4月18日	271	—	1940～50年の日本、アメリカの風景
山口 直	7月31日	—	197	1970～90年代の産業技術等
西川 孟	8月22日	12,492	—	桂離宮、京都御所、龍安寺など
高田昭雄	10月18日	250	—	『橋脚になった島』『水島の記録』等
高野伸二	12月24日	—	3,659	野鳥写真
清水 清	2020年1月17日	4,000	—	植物写真など
岩宮武二	2月17日	947	—	『ボロブドゥール』大阪でのスナップ
島内英佑	2月17日	301	—	1970～2000年代の吉野川
合計9名		18,261	5,968	

相模原分館フィルム保存庫への写真原板入庫内容と入庫数は、川上重治(879)、渡辺義雄(5,935)、岡村崔(420)、若目田幸平(50)、岩波写真文庫(150)、笹本恒子(1,067)、で合計6名8,501本。

②情報発信：写真原板データベースの改良とジャパンサーチとの連携。デジタルアーカイブ学会公開セミナー「ミュージアムとジャパンサーチその可能性と課題」に河原健一郎（保存センター調査員）を講師派遣した。

開催名	会場	日時	参加数
page2020オープンイベント・日本写真保存センターセミナー「写真原板データベースとジャパンサーチとの連携ー写真原板のより広い利活用を目指してー」講師：中川紗央里（国立国会図書館）河原健一郎（保存センター調査員）	池袋サンシャインシティ文化会館7階会議室	2020年2月5日(水)	63名

③2014年度から発足した日本写真保存センターの作業に係る費用を支援いただくための支援組織は、会員数12社1団体で、会議は5月10日(金)と9月25日(水)に御徒町作業分室で開き、支援継続を依頼した。

(株)アイデム、エプソン販売(株)、オリンパス(株)、(株)キタムラ、キヤノン(株)、(株)シグマ、(株)写真弘社、(株)タムロン、凸版印刷(株)、(株)ニコン、富士フィルムイメージングシステムズ(株)、(株)フレームマン、(一社)日本写真著作権協会。

(5) 2020年に協会が創立70周年を迎えるに当たり、創立記念写真展「日本の現代写真 1985～2015」（仮称）の開催並びに写真史の出版を企画。創立70周年記念委員会を設け、編纂作業をした。監修：田沼武能 編纂委員：上野修、飯沢耕太郎、金子隆一、多田亜生、鳥原 学、関次和子。編集委員：野町和嘉（会長）、松本徳彦、山口勝廣と協会理事及び会員。写真展は2021年3月20日より東京都写真美術館で開催予定。

公3事業、写真に関する著作権の普及、啓発に係わる事業

(1) 著作権に関する研究会、セミナーを開催した。

開催名	会場	日時	参加数
専門学校・学校法人東京ビジュアルアーツ写真学科特別授業「著作権・肖像権セミナー」講師：堀切保郎、吉川信之(JPS会員)	東京ビジュアルアーツ大教室	10月23日(水) ①13:00～16:30 ②16:30～19:30	174名
第1回 写真著作権基礎講座「もっと知ろう写真著作権」講師：上野善弘(日本ユニ著作権センター相談員)	JCIIビル6階会議室	11月21日(木)	57名

(2) Web上での写真著作権の問題点を研究した。

(3) 各種著作権契約に関する研究をした。

(4) 著作権の情報収集と公表を行った。

(5) 著作権に関する「著作権よろず相談室」を毎月第3水曜日実施。相談数15件。

(6) 保護期間70年延長への継続運動の研究等をした。

(7) 保護期間の満了した写真著作権の現状調査継続と関係機関との話し合いに参加した。

(8) 「フォトコンテスト応募に関するガイドライン」の実施状況の調査研究を継続して行った。

(9) 日本写真著作権協会(JPCA)との写真著作権に関わる事業協力をした。

公4事業、写真に関する図書の編集発行、電子出版・情報に係わる事業

(1) 『日本写真家協会会報』を年3回、171、172、173号の3冊を発行した。

171号・フォーカス「写真にとっての平成 30年をふりかえる」、座談会「写真表現が変遷した時代」と、年号が平成から令和に変わるなか、写真界の30年の変化を総括した。

172号・フォーカス「個人事業者(写真家)と消費増税の影響について」で消費税10%と今後求められる「インボイス制度」の解説。2020年1月に亡くなった名誉会員奈良原一高の写真展「奈良原一高のスペイン」の紹介、平成最後となる著作権法改正の解説、協会事業の報告などを伝えた。

173号・テレスコープでは「『ジャパンサーチ』の取組」と題し、国が取り組んでいるデジタルアーカイブの解説とそれに日本写真保存センターが連携する意義を記した。座談会では「表現の多様・多極化した時代」と題し、創立70周年記念写真展「日本の現代写真 1985～2015」に関する第3回目を記録掲載した。第3回「笹本恒子写真賞」受賞記念展、第15回「名取洋之助写真賞」受賞作品写真展の報告。第13回JPSフォトフォーラムの報告など。

(2) 電子出版、インターネット、ホームページを利用したサービス業務を行った。日常の更新、内容の見直しと変更及び修正。協会事業の公開など。

公5事業、写真に関する優れた技術開発、表現活動に対する顕彰事業

(1) 写真文化への貢献に対する顕彰として1967年に創設した第45回「日本写真家協会賞」を、一般社団法人 日本写真文化協会「ポートレートギャラリー」に贈り、贈呈式を、12月11日(水)、アルカディア市ヶ谷で行った。贈呈理由：「平成30年に協会創立70周年を迎えた日本写真文化協会は、この70年の間に営業写真館の繁栄のため数々の事業を展開してきた。なかでも平成14年に四谷の日本写真会館内に設けられた写真展会場『ポートレートギャラリー』は、会員のみならず写真愛好家からプロ写真家の作品発表の場を提供し、幾多の優れた写真を世に送り出す活動を続けてきたことに対して」

(2) 新進写真家の発掘と育成を図るために、2019年第15回「名取洋之助写真賞」の公募を行った。

①公募：35歳までの新進写真家を対象に、同一テーマの作品(プリント)30点を、公募期間の7月1日～8月20日までに提出。プロ写真家から在学中の大学生まで、33名35作品。女性9人男性24人。カラー29作品、モノクロ6作品。飯沢耕太郎(写真評論家)、清水哲朗(JPS会員)、野町和嘉会長の3氏により、厳正な選考を行った。名取賞に和田拓海「SHIPYARD～翼の折れた天使たち」(カラー30点)を、名取洋之助写真賞奨励賞に藤本いきる「おじりなりてい」(カラー30点)を選び、授賞式を12月11日(水)、アルカディア市ヶ谷で行った。

②2019年第15回「名取洋之助写真賞受賞作品写真展」を催した。

会期	会場	入場数
2020年1月24日(金)～30日(木)	東京・富士フィルムフォトサロン東京	7,581名
2020年2月7日(金)～13日(木)	大阪・富士フィルムフォトサロン大阪	2,817名
2020年3月4日(水)～8日(日)	福島・福島市民ギャラリー	59名

JPSが企画する『名取賞受賞作品写真集』を制作した。

(3) 第3回「笹本恒子写真賞」は、有識者の推薦による実績のある写真家の候補者を、選考委員 椎名誠、大石芳野、野町和嘉の3氏により厳正な選考を行い、写真家吉永友愛さんに贈ることを決定した。受賞理由：「徳川幕府によるキリスト教徒の迫害、弾圧が260年も続いた外海(そとめ)の教徒たちは、迫害を逃れて山中に立て籠もり、信仰を守り続けてきた。その集落に住む末裔の敬虔な信徒たちの日常生活を、素朴な視線できめ細かく記録し、信仰の奥深さを丁寧に表現した力作に対して」。授賞式を12月11日(水)アルカディア市ヶ谷で行った。また、受賞記念展「キリシタンの里-祈りの外海」を12月19日(木)～25日(水)、アイデムフォトギャラリー「シリウス」で催した。入場者数：846名。

(4) 「第44回2019JPS展」は5月18日(土)東京都写真美術館1階ホールで表彰式を開催した。

入賞・入選者総数：277名。一般部門：242名(文部科学大臣賞1名、金賞1名、銀賞2名、銅賞3名、奨励賞5名、優秀賞17名、入選213名)、18歳以下部門：35名(最優秀賞1名、優秀賞9名、入選25名)

入賞者：文部科学大臣賞・オーゼキコーキ「逢える日」(5枚組 モノクロ)

東京都知事賞・該当者なし

金賞・小林一重「峡谷を治める」(単 カラー)

銀賞・大野真司「Rose mary」(単 カラー)

銀賞・岸 大輔「富士詣で」(3枚組 カラー)

銅賞・常川 真「道端昆虫観察記」(4枚組 カラー)

銅賞・雨森希紀「教えたくない」(単 カラー)

銅賞・宮本安紀子「SF空間」(単 モノクロ) (奨励賞以下略)

18歳以下部門最優秀賞・成瀬 夢「煌めく先へ」(単 カラー) (18歳以下部門 優秀賞以下略)

企画展示「ヤングアイ」

日本写真家協会 会長賞：現代写真研究所 写真総合科Ⅱ「addiction」田島朋樹

ヤングアイ奨励賞：大阪芸術大学 芸術学部 写真学科「Look in」荘司晃正・濱 緋里

公6事業、写真に関する国際交流事業

(1) 国際交流セミナー、研究会を開催した。

開催名	場所	日時	参加数
第1回「ポートフォリオレビューへの道」 海外での売り込みにチャレンジ！ 講師：上原ゼンジ(実験写真家)	東京ウィメンズプラザ 1階視聴覚室	12月6日(金)	30名

(収益事業)

収1事業、書籍、物品の販売事業

- (1) 『2019JPS展作品集』を製作し、5月18日に発行した。
- (2) ネガカバー、ファイルなど写真整理用品や「JPS腕章」とPRESSステッカーの製作及び販売をした。
- (3) 海外プレスカードの発行をした。

(その他の事業 共益事業)

他1事業、ニュース、名簿の製作発行事業

- (1) 『JPSニュース』を年11回 (No. 573~583) 発行した。
- (2) 『会員名簿2020~2021』を2020年1月31日に発行した。

他2事業、祝賀会の事業

- (1) 2019年度の会員相互祝賀会を12月11日(水)、アルカディア市ヶ谷に於いて、会員、賛助会員や文化関係者などの出席で行った。参加者356名。

他3事業、保険の事業

- (1) 2018年度より旧来のJPS団体所得補償保険への団体加入は加入者減少のため業務休止とした。2019年度より新たに損害保険ジャパン日本興亜株式会社(引受保険会社)、株式会社宏栄(取扱代理店)との協力で団体所得補償保険の見直しを行い、「JPS写真家・休業サポートプラン」として募集を開始した。

事業報告書の付属明細書について

この事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成いたしません。